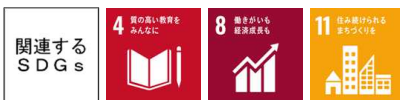


第1節 地域振興・移住定住



現況と課題

- ◆ 慶應義塾大学からの提案により、2013（平成 25）年に市民活動を支援する組織である財団法人を設立しました。現状においては、地域おこし協力隊や市民団体などと連携する中で、空き家の活用事業や中心市街地活性化プロジェクトなど様々なまちづくり事業を展開しています。
- ◆ 市内の中小企業・小規模企業は、経営者が高齢化しているところが目立ち、後継者の確保ができないため経営が順調であっても廃業を選択するケースもあり、円滑な事業継承が大きな課題となっています。一方、近年は廃業率が開業率を上回る傾向があることから、経済の新陳代謝等のためにも、創業促進の重要性が高まっています。
- ◆ 増加する空き家や空き店舗の活用等により、都市圏の企業が豊かな自然等の環境に恵まれた地方にサテライトオフィスを置き、仕事をするすることで、生産性を高める効果が注目されており、人口が減少している本市もその立地が期待されています。ワーケーション<sup>\*1</sup> 環境を整備し、二拠点住居の推進をすることで関係人口を創出していきます。
- ◆ 人口の減少は、高校卒業時などの若年層の市外への流出と、その後も各世代を通じて流出が流入を上回る状況が続いていることによる「社会減」が大きな要因となっており、まずは流出を抑制し、市内への定着、定住を増やすことが肝要です。
- ◆ 勤労者の福利・定住施策として勤労者住宅資金融資を行っていますが、より利用しやすい制度とするために、融資限度額、金利、期間を改正しました。本改正による利用状況の経過を見守るとともに、定住促進を含めた仕組みづくりが必要とされます。
- ◆ 人口減少の主たる要因が未婚化・晩婚化であることから、成婚を後押しし、市内への定住を促進するための支援施策が求められます。
- ◆ Uターン、Iターンによる市外から市内への人口の呼び込みのために、2015（平成 27）年度から移住・定住希望者に対する情報発信及び相談窓口としてふじよしだ定住促進センターを設置し、移住・定住に向けた施策が展開されています。移住希望者の経済的な基盤をどのように確保するかが課題です。

●ドットワーク Plus

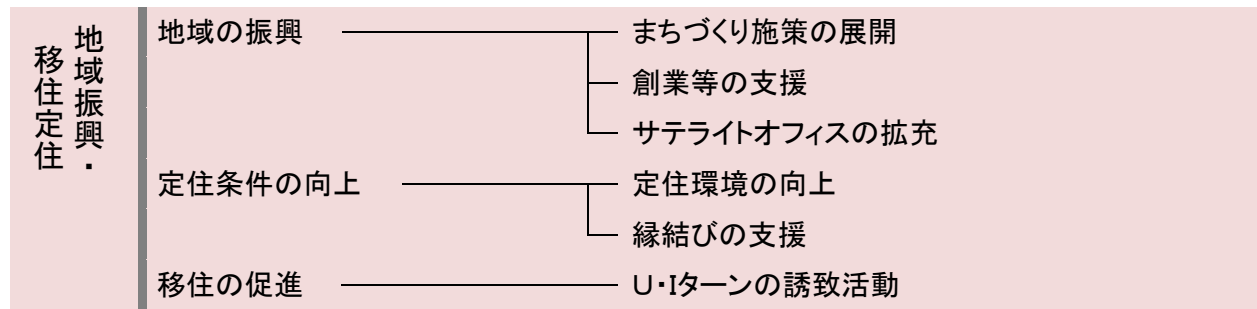


●よしだの暮らしの相談室



\*1) ワーケーション: Work(仕事)と Vacation(休暇)の合成語。リゾート地や地方部など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うこと。あるいは休暇と併用し、旅先で業務を組み合わせる滞在のこと。

## 施策の体系



## 施策

### (1) 地域の振興

#### ①まちづくり施策の展開

魅力と活力のあるまちづくりに向けて、市民団体を中心として、地域おこし協力隊などとも連携し、まちづくり事業を展開していきます。また、設立した活動支援のための財団法人を活用し、主役となる市民団体の活動と連携を図っていきます。

#### ②創業等の支援

経済の新陳代謝と社会の多様性拡大が期待でき、雇用の創出にもつながる新規創業や、長年地域を支えてきた企業の円滑な事業承継に対する支援施策を促進します。

#### ③サテライトオフィスの拡充

空き家、空き店舗を有効活用し、大都市近接の地理的条件や富士山麓の優れた自然環境のもとで、豊かな働き方の実現と居住人口の確保を目指した、富士吉田まるごとサテライトオフィス事業におけるワーケーション環境の整備を進め、関係人口の創出により地域活性化をさせていきます。

### (2) 定住条件の向上

#### ①定住環境の向上

移住・定住希望者の受入体制の充実・強化を図るため、定住促進奨励金制度を運用するとともに、空き家・空き店舗バンク制度、勤労者向け住宅資金融資制度の運用により勤労者などの地元への定着促進を図り、定住の環境を向上させていきます。併せて、これらの情報を、ふじよしだ定住促進センター、ハローワーク及び山梨県等との連携をする中で広く発信し、本市での暮らしの魅力を積極的にPRすることで、市内への定住増加を促していきます。

#### ②縁結びの支援

未婚化・晩婚化に対応するため、縁結びお世話人ネットワーク事業や婚活イベント等の開催により若者の出会いの場を提供し、成婚に結びつけていきます。また、縁結び奨励金制度による結婚サポート体制の整備を進めます。

### (3) 移住の促進

#### ①U・Iターンの誘致活動

ふじよしだ定住促進センターにおいて、Uターン・Iターン希望者への情報提供を促進するとともに、移住希望者に対する相談会等を開催し、新規の定住者などの誘致、受入れを拡大させていきます。